

## 『灯油問題緊急対策本部』が再開されました ～行政・元売へ要請行動を実施～

年明け80円台突入を受け、「異常」価格との認識に至り、休眠していた道連対策本部が再開されました。1月6日の記者会見にはTVを含め14社が参加しました。資料配布・説明会では①昨年来の取組み経過②「異常」価格の背景③道連の主張④今後の要請行動を説明すると共に、原油「高騰」を煽るメディアの責任についても見解を表明しました。

対策本部としての要請先と対応結果は以下です。

①経産局～過疎地SS研究会の中間報告は2月、新年度は実証事業も予定②道3部～過疎地SSはワーキンググループを昨秋立ち上げた、備蓄法は国へ③石油連盟～道のWGのメンバーだ、CIF価は〇、思いは生協とパートナーだ、本部へ届ける④元売・JX～公共料金化は〇、CIF価も〇、同出光～公共料金化は〇、CIF価は×⑤札幌市～中核都市と指定都市は道から補助がなく、福祉灯油の制度化は難しい。

尚、行政は対策本部の要請行動（の事前申入れ）を受け、道は価格調査を月次から週次へ、市は元売や（副市长による）経産局要請を実施するなどの変化・アクションが現れました。

しかしながら、依然として海外での原油（先物市場）価格の高騰を理由とした、元売の「不当」値上げ攻勢

に変化はありません。業界決算の上方修正が伝えられる中、メディアや他県の生協陣営での問題意識にも変化はない模様です。

2月に向けて更なる高騰の可能性が現実味を帯びており、再度の要請行動や霞ヶ関（＝本省）への要請など、対策本部での次ぎなる検討も予定させざるを得ない状況であり、引続き注視が必要です。



1月6日、「灯油問題緊急対策本部」再開で記者会見をする  
前川本部長（道連専務理事）、中島副本部長（コープさっぽろ常務理事）

## 第5回2010ビジョン(会計基準)検討会が開催されました ～中間報告(案)について意見交換～

8月以降の4回に渡る検討会での意見交換をベースに前川専務が中間報告案（1月27日道連理事会へ提出）の私案を提示しました。一部加筆修正され、概ね了とされ5ヶ月に及ぶ検討会を12月7日で一旦終えました。今後は、当初予定されていた小樽商科大多木教授（協同組合法）をゲストに招くなど、日生協の「生協法5年後見直し検討委員会」の進捗を見ながらの再開が次年度に予定されています。

報告案の結論は「国際会計基準の生協会計への導入は慎重であるべき」とし、むしろ生協法改正の総括、即ち「会計の株式会社化が質的段階に」入ったことの

総括が協同組合に携わる者として、他の協同組合を含めたグラウンドで検討が求められるとしています。「非上場会社の会計基準に関する懇談会（2010/7）」や「中小企業の会計に関する研究会・中間報告（2010/9）」などを参照にしながら、積極的な導入の動きに対しては、批判的なスタンスで臨むよう見解表明が必要です。

尚、1月13日に開催された日生協の全国政策討論集会の全体会で、中間報告案の立場で発言しましたが、矢野専務理事からは「概ね提案を是とする」旨のまとめの回答がありました。

## 『親子ウオッチャーと絵本の読み聞かせ』が行われました！

北広島・恵庭・千歳エリア委員会では1月7日に恵み野店で「親子ウオッチャー」を行いました。組合員の親子3組とウオッチャーメンバーの親子が1組参加してくれました。「サンドイッチサンドイッチ」という絵本の読み聞かせで材料と作り方を確認し、使う野菜の産地を調べるために店内に入りました。あちこちから「あった～！」と元気な声が聞こえます。普段野菜がどこから来るのか…など考えることもなかった子どもたちでしたが、遠く九州から届けられていることに驚いた様子です。その後みんなで買い物をして、サンドイッチ作りに挑戦しました。自分たちで作った野菜たっぷりのサンドイッチの味は格別のものだったようです。白地図に産地を色塗りし、あらためて日本各地から野菜が来ていることを確認しました。冬の北海道でも野菜が作られていることも分かり、「遠くからきている野菜を大切に食べよう」「寒い中、野菜を作っている農家さんに感謝しよう」とみんなで話し合いました。

今回、産地の表示を見て買い物をするという経験をしたお母さん方からも「これから意識して買い物をしたいです」という感想を頂きました。冬休みの一日、楽しいウオッチャー活動になりました。



▲野菜の産地調べの様子  
(親子ウオッチャー)

▶おいしくできたかな？  
(サンドイッチ作りに挑戦)

### さっぽろ高齢者福祉生協

## 当生協は設立登記の1月12日で5年目に入りました

さっぽろ高齢者福祉生協は、新年の1月12日で設立登記の日から5年となりました。2006年9月介護付有料老人ホームイリスもとまちを、2008年10月自立の方が入居できる住宅型有料老人ホームイリス北8条を開設し、運営に当たっています。両ホームとも終身利用を約束し、希望される方には看取りもするホームになっており、空けば次の方が入居されれば満室が



週刊ダイヤモンドの介護付有料老人ホーム・ベストランキング(道内)で1位の「イリスもとまち」

常態となっています。創業期に生じた欠損金も本年度上期で克服することが出来、昨年総会で決定した次のホームの設置を目指しています。昨年4月イリ

ス北8条内に訪問介護ステーションとケアプランセンターを開設し、在宅で介護を求める地域の方がたと北8条の入居者で介護保険の利用を希望される方がたへの事業も、着々と進めています。

昨年10月23日の『週刊ダイヤモンド』にイリスもとまちが道内の介護付有料老人ホーム・ベストランキングで1位となって採点表が公表されました。入居率、介護・看護体制、事業経験年数、介護職員退職率など、客観的に数字に表現できる項目によるもので、人的サービスの質を含むものではありませんが、ちょっとした波紋を呼んでいるようです。計量化できない「質」の向上に更に努めようと役員決意を新たにしています。



イリス北8条(住宅型有料老人ホーム)

### お知らせ 非常勤監事研修会・税務経理講習会開催のご案内

- 日時：2011年2月14日(月) 午前9:30～午後2時30分  
 □場所：全労済北海道会館 2F・5F 会議室 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3  
 □内容

①非常勤監事研修会

講師：三宅 充氏(前日生協会員支援本部)・広田 正春氏(コープさっぽろ常勤監事)  
 内容：生協法改正と監事監査、地連監事研修会(=監査環境ガイドライン)報告

②税務経理講習会

講師：遠藤 修二氏(日生協会員支援本部)・東 登氏(コープさっぽろ管理部長)  
 内容：税務申告の基礎・税制改正、生協法改正と国際会計基準

□お申込み・お問い合わせは、道連にお願いします。